

経営改革プラン 平成21年度計画

財団法人 薩摩川内市民まちづくり公社

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し	1 事業の受託の廃止（平成17年度まで） ・国際交流センター、産業振興センター管理運営業務 2 引続き、効率的に実施する事業 ・生涯学習事業、芸術文化振興事業、スポーツ振興事業	1 事業の受託の廃止 平成18年度から平成20年度までは、ありません。 2 引続き、効率的に実施する事業 ・生涯学習事業 受益者負担の原則により参加料を徴収 ・芸術文化振興事業 市からの芸術文化振興補助金により事業を実施するが、入場料等の増収に努めた。 ・スポーツ振興事業 入場料収入による事業実施を図った。	上期 2 引続き、効率的に実施する事業 ・生涯学習事業 ・芸術文化振興事業	2 生涯学習事業：受益者負担の原則に基づき参加料徴収 ・ポーチ作り教室 9名 6,300円 ・風鈴作り教室 15名 3,000円 ・宇宙教室 20名 2,000円 ・ソフトバレーホール大会45チーム 67,500円 ・スチレン版画作り 20名 6,000円 ・書道教室 17名 1,700円 ・万華鏡作り教室 30名 6,000円 芸術文化振興事業：市からの補助金により事業を実施。入場料等の増収に努めた。 ・くらしっくコンサート291名 324,500円 ・六月燈の三姉妹 752名 2,021,000円 ・森山直太郎 1,172名 7,032,000円
			下期 2 引続き、効率的に実施する事業 ・生涯学習事業 ・芸術文化振興事業	2 生涯学習事業：受益者負担の原則に基づき参加料を徴収 ・布でコサージュ作り教室 9名 7,200円 ・資料館室「勾玉作り教室」10名 4,000円 ・オーナメント作り教室 9名 4,500円 ・男の料理教室 11名 6,600円 ・行灯づくり教室 10名 2,000円 芸術文化振興事業：市からの補助金により事業を実施。入場料等の増収に努めた。 ・オペラ「ヘンデルとグレーテル」 722名 361,000円 ・稼木美優コンサート 281名 274,500円
② 財政の健全化	1 財団の財務会計は、公益法人会計基準に基づき処理され、財務運営については、監事の税理士から会計上のアドバイスを受け適切な運営に努めている。 また、基本財産は、安全な国債の購入、預金等は高配当を受けよう工夫をし、増収を図る努力をしている。 2 今後、業務の効率化、人件費の適正化などに取組み、経費の削減を図る。	1 ① 財務会計の適正運営：公益法人会計基準に基づき処理、監事の税理士から指導年間を通じ、必要なアドバイスを受け、財務会計の運営を行っている。 ② 基本財産：安全で確実な運用引続き国債による運用を行っている。 2 業務の効率化、人件費の適正化業務を効率化し、適正な人件費により経費削減を図った。	上期 1 財団の財務会計の適切な運営 2 業務の効率化、適正化	1 新新会計基準に基づいた事務処理を行い監事の税理士から必要なアドバイスを受け、財務会計の運営を行っている。 平成17年度に国債(5年)を購入し、引き続き国債による運用を行っている。 2 総合運動公園有料公園施設の受付及び支援係を受付支援係として統合するとともに、職員配置の見直しなどにより業務の効率化や経費削減を図った。
			下期 1 財団の財務会計の適切な運営 2 業務の効率化、適正化	1 新新会計基準に基づいた事務処理を行い監事の税理士から必要なアドバイスを受け、財務会計の運営を行っている。 平成17年度に国債(5年)を購入し、引き続き国債による運用を行っている。 2 職員の適正に応じた配置見直しなどにより業務の効率化を図るとともに、一部、臨時職員の活用による経費削減を行った。

経営改革プラン 平成21年度計画

財団法人 薩摩川内市民まちづくり公社

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
③ 組織の見直し・職員配置・定員管理の適正化	1 組織・定員等の計画と併せた人件費の適正化 2 市からの派遣職員のあり方 ① 公社職員、市職員の混在している施設（歴史資料館、まごころ文学館）の見直し ② 公社事務マニュアル等の作成プロパー職員の育成等による段階的な市派遣職員の削減	1 組織・定員等の計画と併せた人件費の適正化 組織の見直しにより、適正な職員配置を実施し、人件費の適正化を図った。 2 市からの派遣職員のあり方 ① 公社職員、市職員の混在している施設（歴史資料館、まごころ文学館）の見直し 実施済み ② 公社事務マニュアル等の作成、プロパー職員の育成等による段階的な市派遣職員の削減 公社事務マニュアル等を作成するとともに、市派遣職員を段階的削減した。	上期 1 組織・定員等の計画と併せた人件費の適正化 2 市からの派遣職員あり方の検討	1 組織の再編見直しによる職員配置とともに臨時職員の採用など定員管理及び人件費の効率化を図った。 2 プロパー職員の育成及びリーダーの配置による組織運営の効率化に努めた。
			下期 1 組織・定員等の計画と併せた人件費の適正化 2 市からの派遣職員あり方の検討	1 組織の再編見直しによる職員配置とともに臨時職員の採用など定員管理及び人件費の効率化を図った。 2 プロパー職員の育成及び各係にリーダーを配置するとともに、リーダー研修等を通じて職員の育成を図りながら組織強化に努めた。 市派遣社員の削減後を想定した職員の育成と社内登用等について検討した。
④ 人事制度の確立	1 新たな人事制度の確立 ① プロパー職員の採用計画の策定、優秀な人材の獲得 ② 学芸員の契約職員からプロパー職員への内部登用等の検討 ③ 業態に応じた報酬体系、能力・成果による昇格などの新たな人事・給与制度の確立 2 プロパー職員の人材育成及び研修の実施	1 新たな人事制度の確立 ① プロパー職員の採用計画の策定、優秀な人材の獲得に努めた ② 学芸員の契約職員からプロパー職員への内部登用を行った。 ③ 業態に応じた報酬体系、能力・成果による昇格などの新たな人事・給与制度の確立に努めた 2 プロパー職員の人材育成及び研修の実施 職員のスキルアップを図るため、諸研修への参加を実施した。 ・公益法人会計研修会参加 ・鹿児島県博物館協会主催の研修に参加	上期 1 新たな人事制度の確立 2 プロパー職員の人材育成及び研修の実施	1 効率的な組織運営のため、系の統合やリーダー制の導入を行った。 2 職員のスキルアップを図るため、諸研修等への参加とともに、講師を招いての自社研修を行った。 4月17日 アートマネージメントセミナー 4月28日 公社事務マニュアル研修会 5月14日 公益法人制度改革セミナー 5月18日 3館合同企画共同研究会 6月26日 労務・人事担当者研修会 6月 AED講習会 9月7日 リーダー研修会 9月25日 接遇研修・管理者研修会
			下期 1 新たな人事制度の確立 2 プロパー職員の人材育成及び研修の実施	1 職員の社内登用や昇給、昇格等について新たな人事制度確立に向け検討した。 また、リーダー制の推進による組織活性化を図った。 2 職員のスキルアップを図るため、引き続き、諸研修の実施や外部研修会等への参加を行った。 10月15日 九州公文協自主文化事業研修会 10月28日 AED講習会 11月19日 公益法人制度改革セミナー 1月12日 施設予約システム操作研修会 2月17日 博物館協会研修(屋久島) 2月18日 公益法人制度改革セミナー 3月24日 主任・庶務担当者研修

経営改革プラン 平成21年度計画

財団法人 薩摩川内市民まちづくり公社

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
⑤ 経営状況の点検, 評価	1 第三者機関による外部評価や専門家による経営診断の実施 2 成果目標の設定及びアンケートの実施	1 第三者機関による外部評価や専門家による経営診断の実施 ・実施していない 2 成果目標の設定及びアンケートの実施 ・成果目標:各施設ごとに設定 ・アンケート:各施設ごとに実施	上期	2 成果目標の設定及びアンケートの実施 2 各施設ごとに設定, アンケート・満足度調査の実施:平成18年度から継続して実施中。
			下期	2 成果目標の設定及びアンケートの実施 2 各指定管理受託施設等において, 利用者満足度調査を実施した。 ・川内文化ホール・セントピア ・勤労青少年ホーム・せんだい宇宙館他
⑥ 経営情報等の公表, 情報保護対策	情報公開実施要綱を定め施行(平成19年4月)	情報公開実施要綱及び個人情報保護要綱に基づき運用 情報公開実施要綱に基づき, 公社ホームページによる公開を行っている。	上期	情報公開の実施及び個人情報の適正な取り扱い 平成19年4月に設定済 情報公開実施要綱に基づき公社ホームページで公開実施済
			下期	情報公開の実施及び個人情報の適正な取り扱い 平成19年4月に設定済 情報公開実施要綱に基づき公社ホームページで公開実施済
上期 総括	事務事業の計画的実施とともに, 効率的な運営を行うための組織見直しや人事異動を行い, 財政健全化や人事制度の確立に取り組んだ。			
下期 総括	計画的かつ効率的な事業を実施しながら, 公益法人制度改革にともなう移行準備の事務も取り組んだ。また, 効率的な組織運営を行うための人事異動等を行い, 適切な人事制度の確立をめざした。			